

多量排出事業者行政報告集計（電マニ通常の場合）

- ① マニフェスト管理→閲覧・集計を選択
- ② 事業所名を選択（事業部名は選択しない）
- ③ マニフェスト種類は、電子のみの場合は、「電マニ通」 「電マニ（デボ）」を、紙マニフェストを使用している場合は「通常マニフェスト」も選択する。
- ④ 報告書種類は、マニフェスト品目集計を選択
- ⑤ 単位換算は、t（トン）を選択する
- ⑥ A票交付日は、2021/04/01～2022/03/31 と入力する
- ⑦ 許可自治体は、報告する自治体 を選択する

⑧ 検索ボタンを押す

説明は、下ページに続きます。



廃棄物種類	処理方法	マニフェスト記載量					処理方法別換算t	換算t
		t	kg	m3	L			
腐プラ/発泡スチロール	サーマル(熱回収)	0	0	1	0	0.2	0.2	
腐プラ/その他	サーマル(熱回収)	0	0	615.82	0	123.16	123.16	
金属くず/金属くず	リサイクル(マテリアル)	0	0	82.3	0	123.45	123.45	
ガラス陶/ガラスくずおよび陶磁器くず	リサイクル(マテリアル)	0	0	45.72	0	68.58	68.58	
安定期廃	埋立	0	0	20.3	0	30.45	30.45	
がれき類/コンクリートがら	リサイクル(マテリアル)	193.51	0	216.9	0	540.55	540.55	
がれき類/アスコンがら	リサイクル(マテリアル)	55	0	74.4	0	174.04	174.04	
がれき類/石綿含有産業廃棄物	埋立	0	0	7.6	0	12.16	12.16	

⑨ コピーボタンを押す

⑩ 貼付先のシートを選択
電子通常は、「貼付 電子通常シート」のセル番号A1に貼り付けてください。

多量排出事業者行政報告集計（電マニ通常優良の場合）

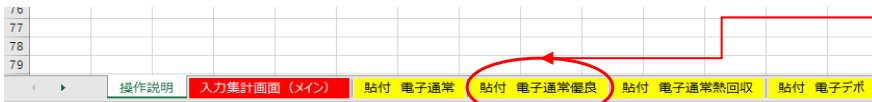
上記の②（事業所名）から⑦（報告する自治体）は変更！

⑪ 処分受託者の 優良認定のみ を選択

⑫ 検索ボタンを押す

廃棄物種類	処理方法	マニフェスト記載量					処理方法別換算t	換算t
		t	kg	m3	L			
腐プラ/発泡スチロール	サーマル(熱回収)	0	0	1	0	0.2	0.2	
腐プラ/その他	サーマル(熱回収)	0	0	513.12	0	102.62	102.62	
金属くず/金属くず	リサイクル(マテリアル)	0	0	70.3	0	105.45	105.45	
ガラス陶/ガラスくずおよび陶磁器くず	リサイクル(マテリアル)	0	0	44.22	0	66.33	66.33	
がれき類/コンクリートがら	リサイクル(マテリアル)	0	0	208.4	0	333.44	333.44	
がれき類/アスコンがら	リサイクル(マテリアル)	0	0	62.9	0	100.64	100.64	
がれき類/石綿含有産業廃棄物	埋立	0	0	7.6	0	12.16	12.16	
がれき類/その他	リサイクル(マテリアル)	0	0	157.3	0	251.68	251.68	

⑬ コピーボタンを押す



⑭貼付先のシートを選択
電子通常優良は、「貼付 電子通常優良シート」のセル番号A 1に貼り付けてください。

多量排出事業者行政報告集計 (電マニ通常熱回収の場合)

ei-system 検索 - マニフェスト管理 閲覧・集計 -

検索 クリア
※複数選択する場合はCtrlキーを押しながらクリックしてください。

権限 本社:システム管理者
所属 本社
氏名 中川 喜裕

メニューを開く
open all | close all
登録・更新
事業所使用業者
処理系統管理
閲覧
登録・更新
処理系統図作成
委託基本契約管理
閲覧
登録・更新
マニフェスト管理
入手
発行・印刷
回収
工事情報管理
閲覧・集計
状況報告書

検索結果 116 枚

検索条件:
 事業所名: は七尾支部, 集合住宅事業部, 集合住宅(中高層), 流通店舗事業部
 マニフェスト種類: 通常マニフェスト, 工場デポ, 非マニフェスト, 電マニ(手入力), 電マニ(通常), 電マニ(デポ), 電マニ登録期限オーバーのみ
 報告書種類: マニフェスト一覧, マニフェスト品目集計
 単位換算: t(トン) (マニフェスト品目集計の場合、必須)
 A票交付日: 2021/04/01 ~ 2022/03/31
 マニフェスト番号:
 工事番号: (前方一致)
 工事名称: (部分一致)
 工期(終了日):
 売上日:
 工事担当者: 自 (部分一致)
 マニフェスト分類: 許可自治体
 業者名: クレハ環境 (部分一致)

上記の②(事業所名)から⑦(報告する自治体)は変更!

⑮業者名に 熱回収認定業者名を入力、処分受託者 全1

⑯検索ボタンを押す

廃棄物熱回収施設設置者の認定状況について (令和3年1月現在)

都道府県	認定事業者数	認定事業者数(%)	施設の種類	施設の種類
1	1	100%	焼却炉	焼却炉
2	1	100%	焼却炉	焼却炉
3	1	100%	焼却炉	焼却炉
4	1	100%	焼却炉	焼却炉
5	1	100%	焼却炉	焼却炉
6	1	100%	焼却炉	焼却炉
7	1	100%	焼却炉	焼却炉
8	1	100%	焼却炉	焼却炉
9	1	100%	焼却炉	焼却炉
10	1	100%	焼却炉	焼却炉
11	1	100%	焼却炉	焼却炉
12	1	100%	焼却炉	焼却炉
13	1	100%	焼却炉	焼却炉
14	1	100%	焼却炉	焼却炉
15	1	100%	焼却炉	焼却炉
16	1	100%	焼却炉	焼却炉
17	1	100%	焼却炉	焼却炉
18	1	100%	焼却炉	焼却炉
19	1	100%	焼却炉	焼却炉
20	1	100%	焼却炉	焼却炉

ei-system 電マニ(通常)品目集計 - マニフェスト管理 閲覧・集計 -

戻る コピー

廃棄物種類	処理方法	マニフェスト記載量				処理方法別換算t	換算t
		t	kg	m3	L		
廃プラ/その他	リサイクル(マテリアル)	0	0	32.2	0	6.44	71.76
	サーマル(熱回収)	0	0	326.6	0	65.32	
安定産品目総計		0	0	358.8	0	71.76	71.76
紙くず/その他	サーマル(熱回収)	0	0	18.5	0	5.55	5.55
木くず/その他	サーマル(熱回収)	0	0	22.4	0	11.2	11.2
繊維くず/繊維くず	サーマル(熱回収)	0	0	8.9	0	2.67	2.67
管理産品目総計		0	0	49.8	0	19.42	19.42

⑰コピーボタンを押す



⑱貼付先のシートを選択
電子通常熱回収は、「貼付 電子通常熱回収シート」のセル番号A 1に貼り付けてください。

※複数社ある場合は、2社目セル番号A 18、3社目セル番号A 39に貼り付けてください。



⑲以降は、「電マニ(デポ)」を上記要領で処理願います
※電子デポ熱回収は、令和3年度実績の報告該当なし。
※紙マニ熱回収は、令和3年度実績の報告該当なし。

⑳紙マニフェストを使用している場合は、「紙マニ(通)以降を上記と同じ要領で処理願います。

㉑各行政への提出書類は、オレンジ色のシートになります



幣」、
易合は、

しない

しない

を 選択

表について

(各)単位別(日別)集計

集計対象 (%)	集計対象の方法	集	計
16.0%	集計 集計対象の方法	○	1
26.0%	集計 集計対象の方法	○	1
20.2%	集計 集計対象の方法	○	1
23.3%	集計 集計対象の方法	○	1
20.0%	集計 集計対象の方法	○	1
21.0%	集計 集計対象の方法	○	1
13.4%	集計 集計対象の方法	○	1
17.1%	集計 集計対象の方法	○	1
27.0%	集計 集計対象の方法	○	1
14.3%	集計	○	1
26.4%	集計 集計対象の方法	○	2
24.1%	集計 集計対象の方法	○	1
15.1%	集計 集計対象の方法	○	1
13.0%	集計 集計対象の方法	○	1
10.0%	集計 集計対象の方法	○	1
18.8%	集計 集計対象の方法	○	1
22.4%	集計 集計対象の方法	○	1
12.0%	集計 集計対象の方法	○	1
12.8%	集計	○	1
			18

フ。

務) J

フ。

産業廃棄物処理計画書

静岡県知事 殿

提出者

住 所 静岡県浜松市中区高林4-15-27

氏 名 大和ハウス工業株式会社 浜松支店

支店長 谷奥 信二

電話番号 053-474-5611

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大和ハウス工業株式会社 浜松支店
事業場の所在地	静岡県浜松市中区高林4-15-27
計画期間	令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	総合工事業
②事業の規模	7510984千円
③従業員数	105名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1の通り

平成34年06月30日

7

(日本産業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙2の通り

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別表1の通り
	排 出 量	1,063.92 t
	(これまでに実施した取組) 別紙3の通り	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別表2の通り
	排 出 量	957.53 t
	(今後実施する予定の取組) 別紙3の通り	

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙4の通り
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙4の通り

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
【前年度（令和3年度）実績】			
産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥	廃油
排 出 量	- t	273.60 t	- t
【目標】			
産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥	廃油
排 出 量	- t	246.24 t	- t

--

--

尿酸

- t

--

--

尿酸

- t

--

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
【前年度（令和3年度）実績】			
産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラスチック類	廃プラスチック類（石綿）
排 出 量	- t	32.23 t	- t
【目標】			
産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラスチック類	廃プラスチック類（石綿）
排 出 量	- t	29.01 t	- t

金属くず
9.64 t

金属くず
8.67 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
【前年度（令和3年度）実績】			
産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず	ガラス陶磁器くず（水銀使用製品）	ガラス陶磁器くず（石膏ボード）
排出量	11.51 t	0.01 t	27.03 t
【目標】			
産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず	ガラス陶磁器くず（水銀使用製品）	ガラス陶磁器くず（石膏ボード）
排出量	10.36 t	0.01 t	24.32 t

--

--

ガラス陶磁器くず (太陽光パネル)

- t

--

--

ガラス陶磁器くず (太陽光パネル)

- t

--

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
【前年度（令和3年度）実績】			
産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず (石綿)	鉋さい	がれき類 (コンクリート片)
排 出 量	- t	- t	430.32 t
【目標】			
産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず (石綿)	鉋さい	がれき類 (コンクリート片)
排 出 量	- t	- t	387.29 t

--

--

がれき類 (廃アスファルト)

187.35 t

--

--

がれき類 (廃アスファルト)

168.62 t

--

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
【前年度（令和3年度）実績】			
産業廃棄物の種類	がれき類 (レンガ破片など)	がれき類 (石綿)	紙くず
排 出 量	20.98 t	8.00 t	5.47 t
【目標】			
産業廃棄物の種類	がれき類 (レンガ破片など)	がれき類 (石綿)	紙くず
排 出 量	18.88 t	7.20 t	4.92 t

--

--

木くず

48.79 t

--

木くず

43.91 t

--

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
【前年度（令和3年度）実績】			
産業廃棄物の種類	繊維くず	建設混合廃棄物	
排出量	- t	9.00 t	t
【目標】			
産業廃棄物の種類	繊維くず	建設混合廃棄物	
排出量	- t	8.10 t	t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状①現状	【前年度（令和3年度）実績】	
	産業廃棄物の種類産業廃棄物の種	別表1の通り別表1の通り
	産業廃棄物の量自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t
	(これまでに実施した取組) (これまでに実施した取組)	
②計画②計画	【目標】 【目標】	
	産業廃棄物の種類産業廃棄物の種	別表2の通り別表2の通り
	産業廃棄物の量自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t
	(今後実施する予定の取組) (今後実施する予定の取組)	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状①現状	【前年度（令和3年度）実績】	
	産業廃棄物の種類産業廃棄物の種	別表1の通り別表1の通り
	産業廃棄物の量自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t
	量した産業廃棄物の量自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t
(これまでに実施した取組) (これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別表2の通り
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t
(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別表1の通り
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	- t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別表2の通り
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	- t
	(今後実施する予定の取組)	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別表1の通り
	全処理委託量	1,063.92 t
	優良認定処理業者への処理委託量	224.87 t
	再生利用業者への処理委託量	1,051.11 t
	認定熱回収業者への処理委託量	- t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	75.24 t
	(これまでに実施した取組) 別紙5の通り	

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和3年度）実績】

産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥	廃油
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥	廃油
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和3年度）実績】

産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥	廃油
全処理委託量	- t	273.60 t	- t
優良認定処理業者 への処理委託量	- t	- t	- t
再生利用業者への 処理委託量	- t	273.60 t	- t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	- t

--

廃酸

- t

--

--

廃酸

- t

--

--

--

廃酸

- t

- t

- t

- t

- t

- t

- t

--

--

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和3年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラスチック類	廃プラスチック類（石綿）
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラスチック類	廃プラスチック類（石綿）
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和3年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラスチック類	廃プラスチック類（石綿）
全処理委託量	- t	32.23 t	- t
優良認定処理業者 への処理委託量	- t	32.23 t	- t
再生利用業者への 処理委託量	- t	32.23 t	- t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	31.22 t	- t

金属くず
- t

金属くず
- t

金属くず
9.64 t
5.26 t
9.64 t
- t
- t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和3年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず	ガラス陶磁器くず（水銀使用製品）	ガラス陶磁器くず（石膏ボード）
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず	ガラス陶磁器くず（水銀使用製品）	ガラス陶磁器くず（石膏ボード）
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和3年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず	ガラス陶磁器くず（水銀使用製品）	ガラス陶磁器くず（石膏ボード）
全処理委託量	11.51 t	0.01 t	27.03 t
優良認定処理業者への処理委託量	11.51 t	0.01 t	27.03 t
再生利用業者への処理委託量	9.70 t	0.01 t	27.03 t
認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.41 t	- t	- t

--

ガラス陶磁器くず
(太陽光パネル)

-	t
---	---

--

ガラス陶磁器くず
(太陽光パネル)

-	t
---	---

--

--

ガラス陶磁器くず
(太陽光パネル)

-	t
---	---

-	t
---	---

-	t
---	---

-	t
---	---

-	t
---	---

--

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度(令和3年度)実績】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず (石綿)	鋳さい	がれき類 (コンクリート片)
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず (石綿)	鋳さい	がれき類 (コンクリート片)
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度(令和3年度)実績】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず (石綿)	鋳さい	がれき類 (コンクリート片)
全処理委託量	- t	- t	430.32 t
優良認定処理業者 への処理委託量	- t	- t	69.60 t
再生利用業者への 処理委託量	- t	- t	430.32 t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	- t

がれき類
(廃アスファルト)

- t

がれき類
(廃アスファルト)

- t

がれき類
(廃アスファルト)

187.35 t

8.00 t

187.35 t

- t

- t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度(令和3年度)実績】

産業廃棄物の種類	がれき類 (レンガ破片など)	がれき類 (石綿)	紙くず
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類 (レンガ破片など)	がれき類 (石綿)	紙くず
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度(令和3年度)実績】

産業廃棄物の種類	がれき類 (レンガ破片など)	がれき類 (石綿)	紙くず
全処理委託量	20.98 t	8.00 t	5.47 t
優良認定処理業者 への処理委託量	20.98 t	8.00 t	5.47 t
再生利用業者への 処理委託量	20.98 t	- t	5.47 t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	0.66 t	- t	0.72 t

--

木くず

- t

--

木くず

- t

--

木くず

48.79 t

27.79 t

48.79 t

- t

40.23 t

--

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和3年度）実績】

産業廃棄物の種類	繊維くず	建設混合廃棄物	
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	繊維くず	建設混合廃棄物	
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和3年度）実績】

産業廃棄物の種類	繊維くず	建設混合廃棄物	
全処理委託量	- t	9.00 t	t
優良認定処理業者 への処理委託量	- t	9.00 t	t
再生利用業者への 処理委託量	- t	6.00 t	t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	2.00 t	t

- t

- t

t

t

t

t

t

t

t

②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別表2の通り
	全処理委託量	957.53 t
	優良認定処理業者への処理委託量	202.38 t
	再生利用業者への処理委託量	946.00 t
	認定熱回収業者への処理委託量	- t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	67.71 t
	(今後実施する予定の取組) 別紙5の通り	
※事務処理欄		

t
t
t
t
t

【目標】

産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥	廃油
全処理委託量	- t	- t	- t
優良認定処理業者 への処理委託量	- t	- t	- t
再生利用業者への 処理委託量	- t	246.24 t	- t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	- t

廃酸
- t
- t
- t
- t
- t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラスチック類	廃プラスチック類 (石綿)
全処理委託量	- t	29.01 t	- t
優良認定処理業者 への処理委託量	- t	29.01 t	- t
再生利用業者への 処理委託量	- t	29.01 t	- t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	28.10 t	- t

金属くず
8.67 t
4.73 t
8.67 t
- t
- t

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず	ガラス陶磁器くず (水銀使用製品)	ガラス陶磁器くず (石膏ボード)
全処理委託量	10.36 t	0.01 t	24.32 t
優良認定処理業者への処理委託量	10.36 t	0.01 t	24.32 t
再生利用業者への処理委託量	8.73 t	0.01 t	24.32 t
認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.37 t	- t	- t

ガラス陶磁器くず (太陽光パネル)
- t
- t
- t
- t
- t

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器くず (石綿)	鉱さい	がれき類 (コンクリート片)
全処理委託量	- t	- t	387.29 t
優良認定処理業者 への処理委託量	- t	- t	62.64 t
再生利用業者への 処理委託量	- t	- t	387.29 t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	- t

がれき類 (廃アスファルト)
168.62 t
7.20 t
168.62 t
- t
- t

【目標】			
産業廃棄物の種類	がれき類 (レンガ破片など)	がれき類 (石綿)	紙くず
全処理委託量	18.88 t	7.20 t	4.92 t
優良認定処理業者 への処理委託量	18.88 t	7.20 t	4.92 t
再生利用業者への 処理委託量	18.88 t	- t	4.92 t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	0.59 t	- t	0.65 t

木くず
43.91 t
25.01 t
43.91 t
- t
36.21 t

【目標】				
産業廃棄物の種類	繊維くず		建設混合廃棄物	
全処理委託量	-	t	8.10	t
優良認定処理業者への処理委託量	-	t	8.10	t
再生利用業者への処理委託量	-	t	5.40	t
認定熱回収業者への処理委託量	-	t	-	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	-	t	1.80	t

t
t
t
t
t

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

「当該事業場において現に行っ

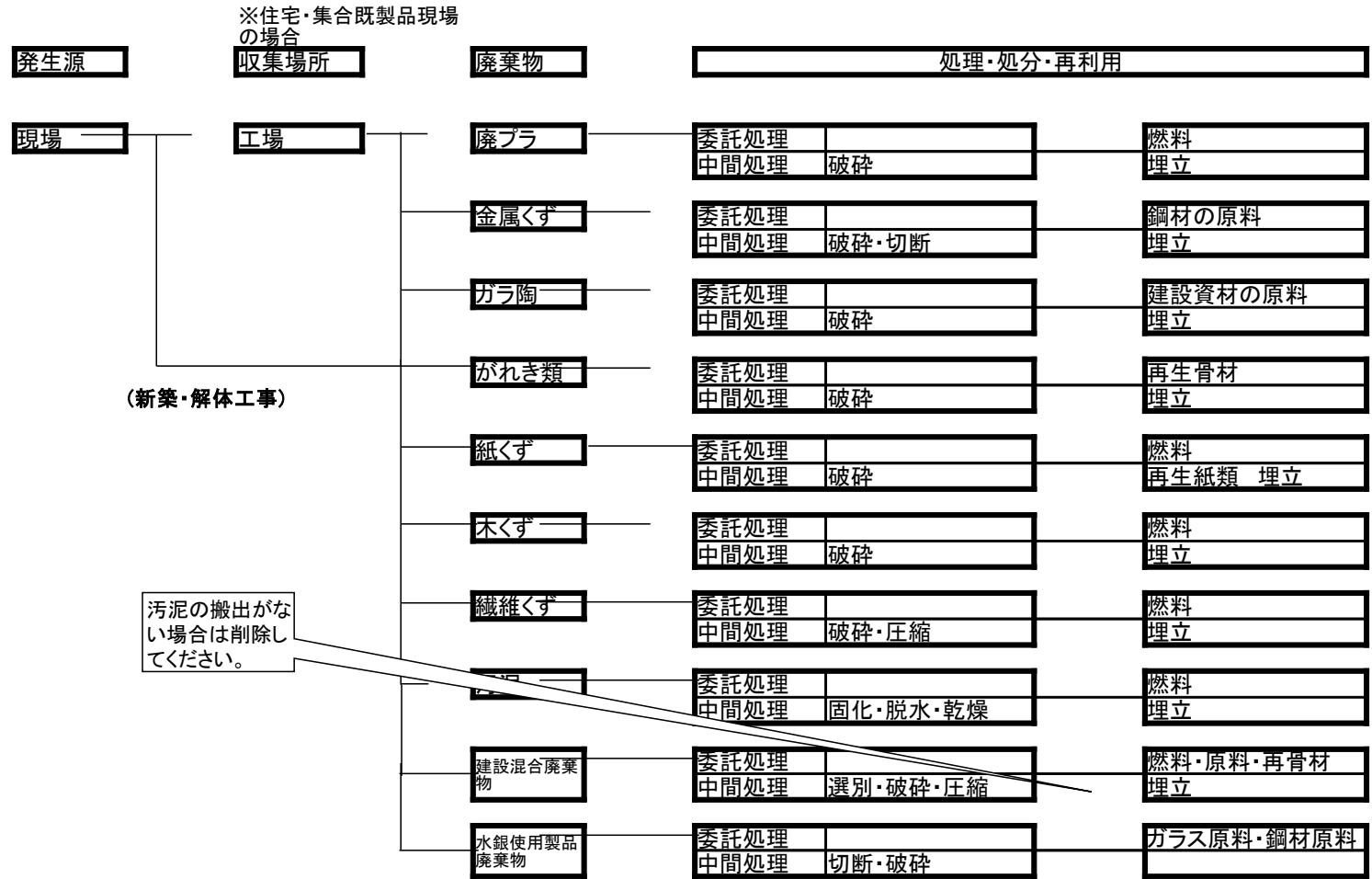
た

。

で

き

廃棄物処理フロー図



別表3

＜産業廃棄物の排出の抑制に関する事項＞

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
廃プラスチック類	<ul style="list-style-type: none"> ・当社工場出荷材においては製品化にして出荷 ・現場調達材のプレカットにして出荷 ・給水管のプレ加工 	<ul style="list-style-type: none"> ・製品化された部材の採用に努める ・現場調達材はプレカット化の精度を高める ・梱包レス化の推進で排出抑制を図る ・通い箱等での梱包レス化
金属くず	<ul style="list-style-type: none"> ・有価物として鉄鋼原料とする処分業者に委託している ・基礎鉄筋のプレ加工 ・電気配線のプレ加工 	<ul style="list-style-type: none"> ・原材料化業者に処理委託し鉄鋼原料としてリサイクルしていく
ガラス陶磁器等くず	<ul style="list-style-type: none"> ・外壁窯業サイディング材のプレカットで出荷 ・石膏ボードをメーカー工場よりプレカットにて出荷 ・瓦材のプレ加工 	<ul style="list-style-type: none"> ・更なるプレカット納入物件を計る ・通年実績でのロス率見直しでのカット精度
コンクリート片	<ul style="list-style-type: none"> ・注文時の依頼数量精度を高め過不足が無いようにしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・更なる精度アップを図る
廃アスファルト	<ul style="list-style-type: none"> ・注文時の依頼数量精度を高め過不足が無いようにしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・更なる精度アップを図る
レンガ破片等		
紙くず	<ul style="list-style-type: none"> ・専ら業者等の委託契約を締結し再生利用をしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・専ら業者等の委託契約締結を促進して更にする
木くず	<ul style="list-style-type: none"> ・当社工場出荷材はプレカットにて出荷 ・現場調達材のプレカットにて出荷 ・梱包材のリターナブル化 	<ul style="list-style-type: none"> ・更なるプレカット化の精度を高める ・ロス率見直しによる精度向上を図る
繊維くず		<ul style="list-style-type: none"> ・藁タタミの採用を極力避けてスタイロタタミ
石綿含有産業廃棄物	事前調査で適正処理の推進	事前調査精度向上による適正処理の継続
建設汚泥		
建設混合廃棄物		解体現場での分別精度の向上推進を図る
水銀使用製品廃棄物		解体現場での分別精度の向上推進を図る

)
てマテリアル
向上をはかる
なる再生利用
を採用する

別表4

＜産業廃棄物の分別に関する事項＞

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
廃プラスチック類	・単品袋詰め	・発泡スチロールの分別をする ・PPバンド等、リサイクル可能な分別品目を クル率向上図る
金属くず	・切断し、単品袋詰め 又はコンテナに単品集積	・金属くず、非鉄金属に分別する
ガラス陶磁器等くず	・切断し、単品袋詰め 又はコンテナに単品集積 ・石膏ボードは専用袋に袋詰め	・リサイクルするための用途を検討 ・石膏ボード 雨に濡らさない保管施設の確
コンクリート片	・切断し、単品袋詰め 又はコンテナに単品集積	・他品目 異物等混入の根絶
廃アスファルト	・切断し、単品袋詰め 又はコンテナに単品集積	・他品目 異物等混入の根絶
レンガ破片等	解体現場での分別の徹底	解体現場での分別の徹底
紙くず	・ダンボール類は紐で縛る ・その他紙くずは、単品袋詰め	・雨に濡らさない保管施設の見直し ・雨に対して養生仕方の検討
木くず	30cm以下に切断して単品袋詰め	長尺物の再利用検討
繊維くず	解体現場での分別の徹底	解体現場での分別の徹底
石綿含有産業廃棄物	解体工事でのレベル3成形板は極力原形のままで撤 去による分別解体の取り組み	解体工事でのレベル3成形板は極力原形の 去による分別解体の取り組み
建設汚泥	行政指導の元、成分分析等で残土受け入れ先の選定を 行う	行政指導の元、成分分析等で残土受け入 れを行う
建設混合廃棄物	解体現場での分別の徹底	解体現場での分別の徹底
水銀使用製品廃棄物	解体現場での分別の徹底	解体現場での分別の徹底

別表5

＜産業廃棄物の処理の委託に関する事項＞

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
廃プラスチック類	<ul style="list-style-type: none"> ・当社独自の委託基準に従って認定された業者に委託する ・定期的に適正処理が行なっているか処理委託先の現地審査を安全管理部廃棄物グループと同行して実施している ・委託基本契約書の定期見直し ・委託先 処理系統の見直し ・収集運搬許可書、車両一覧表、処分業許可書の有効期限を点検 ・処理後発生する廃棄物や製品の処理委託(売買)契約を適切に行っているか。 ・マニフェストの回収・返送を適切に行っているか。 ・処理施設の管理状況（施設・車両の点検状況） ・従業員の教育状況 ・周辺の地域社会との交流の取り込み 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続していく
金属くず		
ガラス陶磁器等くず		
コンクリート片		
廃アスファルト		
レンガ破片等		
紙くず		
木くず		
繊維くず		
石綿含有産業廃棄物		
建設汚泥		
建設混合廃棄物		
水銀使用製品廃棄物		

